

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 制度内容の理解が職員間に均一に浸透していないところがある。	認知症により判断能力が十分でなくても、その方のありのままを認め、受け入れ、個人の尊厳と自己決定を尊重し、その方にあった生活支援を行う。	職員全員が権利と尊厳に対する意識をより高める為、研修会や講演会に参加してもらう機会を作る。毎月のミーティング時に内容を他職員にも伝え情報共有する。日頃より行動制限、虐待、身体拘束について考えながら、支援を行っているかの意識づけを行う。	12カ月
2	3	○運営推進会議を活かした取り組み 現在の会議にご入居者様本人は参加していただいている。	ご利用者として率直な意見を述べていただき、サービスの向上につなげていく。	ご入居者様に最初の15分ほど会議に参加して頂く。発言して頂ける話題を検討し、思っていることをお話いただけるよう援助する。	6カ月
3	40	○食事を楽しむ事のできる支援 ご入居者の加齢に伴う咀嚼、嚥下動作の衰えと段階に応じたきめ細かい食事形態の提供。	嚥下困難な方でも安心して食事を楽しむ事が出来るようADLに対応した食生活支援も行う。	毎月ミーティングを実施し、普通食、刻み食、ミキサー食、ソフト食の味や飲み込みやすさの向上を続ける。また通常のお食事が困難な方にも対応可能な食店舗を探し、外食を楽しんで頂く。ご家族との外食も行い、楽しみにつなげる試みを続ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。